

# 全段連 第三次環境自主行動計画（温暖化対策）

## 2018年度実績フォローアップ調査結果

2019年7月19日

全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は、環境自主行動計画に対する進捗状況を把握するため、本年5月に自主行動計画参加企業に対して2018年度実績の調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

### <計画>

- ・目標：2006年度～2008年度の3年間平均に対し、2017年度～2020年度の4年間平均でCO<sub>2</sub>総排出量を14.4%、CO<sub>2</sub>原単位で21.1%削減する。
- ・自主行動計画参加企業数：59社
- ・全国段ボール生産量に対するカバー率：70.8%（2016年度）

### <実績>

項目		基準年度	参考実績	計画	実績		
		2006～2008年度平均	2016年度 (基準年度比)	2017～2020年度平均 (基準年度比)	2017年度 (基準年度比)	2018年度 (基準年度比)	2017～2018年度平均 (基準年度比)
貼合生産量	百万㎡/年	9,422	9,944 (105.5%)	10,217 (108.4%)	10,202 (108.3%)	10,393 (110.3%)	10,298 (109.3%)
CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	597,623	511,294 (85.6%)	511,294 (85.6%)	515,739 (86.3%)	513,259 (85.9%)	514,499 (86.1%)
CO <sub>2</sub> 削減量 ※1	t-CO <sub>2</sub> /年	—	86,329	86,329	81,884	84,364	83,124
CO <sub>2</sub> 削減率	%	—	14.4	14.4	13.7	14.1	13.9
CO <sub>2</sub> 原単位 ※2	kg-CO <sub>2</sub> /千㎡	63.43	51.42 (81.1%)	50.04 (78.9%)	50.55 (79.7%)	49.39 (77.9%)	49.96 (78.8%)
原単位削減率	%		18.9	21.1	20.3	22.1	21.2

※1：基準年度に対する計画年度毎の削減量。 ※2：CO<sub>2</sub>総排出量を貼合生産量で割った値。

【注】基準年度以外のCO<sub>2</sub>排出量算定における電力の炭素排出係数は2010年度の数値を用いた。

CO<sub>2</sub>排出量算定における炭素排出係数の見直し及び、一部過去の数値訂正があったことから、計画、2016年度、2017年度実績の数値を修正している。

### <2018年度実績の調査結果について>

2018年度の参加59社の貼合生産量は、前年度より191百万㎡（1.9%）増加したが、CO<sub>2</sub>総排出量は2,480t（0.5%）減少した。CO<sub>2</sub>排出原単位では前年度より1.16kg-CO<sub>2</sub>/千㎡（2.3%）減少し、改善された。ボイラーの効率化、LED・コンプレッサー等の省エネ設備の導入、生産効率の向上等がその要因である。

第三次計画は、生産量増加によるCO<sub>2</sub>総排出量増加を原単位改善の上積みによってカバーし、2016年度をベースにCO<sub>2</sub>総排出量を増やさないという目標としている。CO<sub>2</sub>排出原単位削減率は21.2%と改善が進んでいるが、CO<sub>2</sub>総排出量の削減率は13.9%という結果となっており、更に改善を進める必要がある。

以上